

第4章 調査票

福岡市 健康課題等と仕事の両立に関する事業所等実態調査

(従業員・個人の方向け)

福岡市では、ワーク・ライフ・バランス及び女性活躍を推進するため、女性・男性特有の健康課題や不妊治療と仕事の両立等に関する現状を把握し、今後の施策に反映させるための実態調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、調査結果は、2023年3月頃に貴事業所への概要送付と、福岡市ホームページへ掲載を予定しています。

- 調査対象：福岡市内の事業所で働くすべての方（性別問わず）
- 回答目安時間：約10分

【ご回答期限】2023年1月31日（火）

■まずはご自身について教えてください

選択肢記号の説明

- 複数選択（チェックボックス）
- 単一選択（ラジオボタン）
- 単一選択（プルダウン）

Q1 性別

- 1. 女性
- 2. 男性
- 3. その他
- 4. 回答しない

Q2 年齢

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代以上

Q3 就業形態

- 1. 経営者・役員
- 2. 正社員・正職員
- 3. 契約社員・契約職員（嘱託含む）
- 4. パート・アルバイト
- 5. 自営業・フリーランス
- 6. 以前仕事をしていましたが今は辞めている
- 7. 仕事をしたことがない
- 8. その他

<従業員調査>

Q4 勤務先の業種

- ▽ 1. 農業, 林業
- ▽ 2. 漁業
- ▽ 3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業
- ▽ 4. 建設業
- ▽ 5. 製造業
- ▽ 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
- ▽ 7. 情報通信業
- ▽ 8. 運輸業, 郵便業
- ▽ 9. 卸売業, 小売業
- ▽ 10. 金融業, 保険業
- ▽ 11. 不動産業, 物品賃貸業
- ▽ 12. 学術研究, 専門・技術サービス業
- ▽ 13. 宿泊業, 飲食サービス業
- ▽ 14. 生活関連サービス業, 娯楽業
- ▽ 15. 教育, 学習支援業
- ▽ 16. 医療, 福祉
- ▽ 17. 複合サービス事業
- ▽ 18. サービス業 (他に分類されないもの)
- ▽ 19. 公務 (他に分類されるものを除く)
- ▽ 20. 分類不能の産業

Q5 勤務先での役職

- ▽ 1. 一般社員
- ▽ 2. 中間管理職 (主任・係長級)
- ▽ 3. 管理職 (課長級以上)
- ▽ 4. 経営者・役員
- ▽ 5. 該当なし

Q6 勤務先の従業員数

- ▽ 1. 10人以下
- ▽ 2. 11~50人
- ▽ 3. 51~100人
- ▽ 4. 101~300人
- ▽ 5. 301~500人
- ▽ 6. 501人以上
- ▽ 7. 分からない

Q7 配偶者 (パートナー) はいらっしゃいますか。

- ▽ 1. いる (既婚・事実婚)
- ▽ 2. いない (離死別)
- ▽ 3. いない (未婚)
- ▽ 4. その他

Q8 現在の働き方について教えてください。

- ▽ 1. 自分のみ働いている
- ▽ 2. 配偶者（パートナー）のみ働いている
- ▽ 3. 共働き
- ▽ 4. その他

Q9 お子さんはいますか。

- ▽ 1. いる
- ▽ 2. いない
- ▽ 3. その他

Q10 末子のお子さんの年齢を教えてください。（数字のみご記入ください）

- 1. 末子の年齢【N】

Q11 家事（炊事・掃除・洗濯等）・育児等は主に誰が行っていますか。

- ▽ 1. 主に自分
- ▽ 2. 自分と配偶者（パートナー）が同じくらい
- ▽ 3. 主に配偶者（パートナー）
- ▽ 4. 主に配偶者（パートナー）以外の家族
- ▽ 5. 主に家族
- ▽ 6. 家族以外の人
- ▽ 7. その他

Q12 今後の働き方について、あなたの考え方に最も近いものをお選びください。

- 1. 今の会社でずっと働き続けたい
- 2. 雇用区分を変更するなどして今の会社で働き続けたい
- 3. いずれは他社へ転職したい
- 4. いずれは独立したい
- 5. 仕事をやめたい
- 6. 分からない
- 7. その他

Q13 機会があれば、いずれ管理職として働きたいと思いませんか。

- 1. そう思う
- 2. どちらかというとそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない
- 5. 分からない

■ここからは、身近な健康問題についてお尋ねします

Q14 次の症状名を知っている、または聞いたことはありますか。

項目リスト

1. 月経関連の症状や疾病（月経不順・月経痛等）
2. PMS（月経前症候群）※
3. 女性の更年期障害（のぼせ、ほてり、多汗等）
4. 子宮内膜症や良性腫瘍（卵巣のう腫、子宮筋腫等）
5. 不妊治療
6. 妊娠・出産に関する症状（つわり・流産・早産・死産・産後うつ等）
7. 婦人科系がん（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等）
8. 男性の更年期障害（関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等）
9. 泌尿器系の疾患（前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等）

選択肢リスト

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
- 3. 知らない

※「PMS(Premenstrual Syndrome)」とは、日本語で「月経前症候群」と呼ばれている。生理が始まる前の3日～10日前に起こる、心と身体のさまざまな不調のこと。症状は、イライラする、怒りっぽくなる、うつ状態、腹痛、腰痛、頭痛、など様々な症状があらわれる。生理が始まると自然に消えたり、軽くなるのが特徴。

Q15 特に女性特有とされる健康問題が、組織や社会に以下のような影響を与えていることを知っていますか。

項目リスト

1. 現代は出産の高齢化や回数減少により、女性が生涯で経験する月経回数が増えている。子宮内膜症や子宮筋腫、卵巣のう腫なども増加しており、月経痛や月経困難症、PMS（月経前症候群）など女性の就労に大きな影響を与えている。
2. 働く女性の94%は月経に関連した症状によって仕事のパフォーマンスに影響があり、45%はパフォーマンスが半分以下になっている。
3. 「疾患・症状が仕事の生産性等に与える影響に関する調査」のトップ3は、1位：メンタル不調、2位：心臓の不調、3位：月経不順・PMS（月経前症候群）等による不調。男女調査であるにも関わらず、「月経不順・PMS」という女性特有の症状が3位にランクインしている。
4. 40歳以上で更年期症状がある人のうち、更年期症状により仕事のパフォーマンスに影響がある人は95%。また、35歳から59歳までの更年期を自覚している女性のうち、約50%が更年期症状で昇進を辞退し、約17%が仕事を辞めたことがある。
5. 不妊の検査または治療経験がある夫婦は約4.4組に1組。不妊治療と仕事との両立ができず、女性の不妊治療経験者の23%が離職、10%が雇用形態を変更し、10%が不妊治療を断念している。
6. がん患者の約3人に1人が20代から60代でがんに罹患し、がんと診断を受けて退職・廃業した人は19.8%。そのうち初回治療までに退職・廃業した人は56.8%。また、女性は乳がん患者が多く、増加傾向が認められる。

選択肢リスト

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
- 3. 知らない

Q16

次のうち、痛みや症状を感じる（もしくは過去感じたことのある）ものはありますか。該当するものすべてにチェックしてください。

項目リスト

1.	月経関連の症状や疾病（月経不順・月経痛等）
2.	PMS（月経前症候群）
3.	更年期障害（のぼせ、ほてり、多汗等）
4.	子宮内膜症や良性腫瘍（卵巣のう腫、子宮筋腫等）
5.	不妊治療
6.	妊娠・出産に関する症状（つわり・流産・早産・死産・産後うつ等）
7.	婦人科系がん（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等）

選択肢リスト

1. 感じる（感じたことがある）
2. ときどき感じる（ときどき感じたことがある）
3. 感じない
4. 分からない

Q17

その痛みや症状が著しい場合、仕事にどのような影響がありますか。

項目リスト

1.	月経関連の症状や疾病（月経不順・月経痛等）
2.	PMS（月経前症候群）
3.	更年期障害（のぼせ、ほてり、多汗等）
4.	子宮内膜症や良性腫瘍（卵巣のう腫、子宮筋腫等）
5.	不妊治療
6.	妊娠・出産に関する症状（つわり・流産・早産・死産・産後うつ等）
7.	婦人科系がん（子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等）

選択肢リスト

1. 仕事を休んで受診する必要がある
2. 仕事を休んで休養を取る必要がある
3. 休むまではないが、症状により仕事のパフォーマンス低下を感じる
4. 該当しない
5. 分からない

Q18

次のうち、痛みや症状を感じる（もしくは過去感じたことのある）ものはありますか。該当するものすべてにチェックしてください。

項目リスト

1.	男性の更年期障害（関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等）
2.	泌尿器系の疾患（前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等）
3.	不妊治療

選択肢リスト

1. 感じる（感じたことがある）
2. ときどき感じる（ときどき感じたことがある）
3. 感じない
4. 分からない

<従業員調査>

Q19 その痛みや症状が著しい場合、仕事にどのような影響がありますか。

項目リスト

1.	男性の更年期障害（関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等）
2.	泌尿器系の疾患（前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等）
3.	不妊治療

選択肢リスト

<input type="checkbox"/>	1.	仕事を休んで受診する必要がある
<input type="checkbox"/>	2.	仕事を休んで休養を取る必要がある
<input type="checkbox"/>	3.	休むまではないが、症状により仕事のパフォーマンス低下を感じる
<input type="checkbox"/>	4.	該当しない
<input type="checkbox"/>	5.	分からない

Q20 痛みや症状がないときの仕事の出来を100%としたとして、痛みや症状がある時のご自身の仕事の出来を評価してください。

1.	月経関連の症状や疾病【N】
2.	PMS【N】
3.	更年期障害【N】
4.	子宮内膜症や良性腫瘍【N】
5.	不妊治療【N】
6.	妊娠・出産に関する症状【N】
7.	婦人科系がん【N】
8.	男性の更年期障害【N】
9.	泌尿器系の疾患【N】

Q21 症状について、病院を受診している（する予定）がありますか。

項目リスト

1.	月経関連の症状や疾病
2.	PMS
3.	更年期障害
4.	子宮内膜症や良性腫瘍
5.	不妊治療
6.	妊娠・出産に関する症状
7.	婦人科系がん
8.	男性の更年期障害
9.	泌尿器系の疾患

選択肢リスト

<input type="radio"/>	1.	現在受診している
<input type="radio"/>	2.	過去に受診したことがあるが現在は受診していない
<input type="radio"/>	3.	受診したことはないが、今後、受診する予定
<input type="radio"/>	4.	これまで受診したことがなく、今後も受診する予定はない

Q22 現在受診していない理由を、差支えない範囲で教えてください。

- 1. どこを受診したらよいか分からないから
- 2. 症状や疾患が改善したから
- 3. 受診をしても症状は変わらない（変わらなかった）から
- 4. 受診の必要性を感じていないから
- 5. 仕事を休むことが難しいから
- 6. 家事・育児等により受診の時間が取れないから
- 7. その他

Q23 上記でお答えいただいた痛みや症状があることで、以下の困り事や難しさを感じることはありますか。

項目リスト

- | |
|--------------------|
| 1. 正社員として働き続けること |
| 2. 希望の職業や働き方を続けること |
| 3. 赴任や留学等のキャリアアップ |
| 4. 責任の重い仕事や役割を担うこと |
| 5. 管理職となること |

選択肢リスト

- 1. 難しいと感じる
- 2. やや難しいと感じる
- 3. さほど難しいとは感じない
- 4. 難しいとは感じない
- 5. そういう経験はない
- 6. 分からない

Q24 上記でお答えいただいた痛みや症状があることで、休職や退職を考えたことはありますか。

- 1. 休職したことがある
- 2. 退職したことがある
- 3. 休退職はしなかったが考えたことはある
- 4. 考えたことはない
- 5. 分からない

<従業員調査>

Q25

上記でお答えいただいた痛みや症状があるときに、勤務先で必要と感じた、あればよかったと思う支援はどのようなものですか。

- 1. 治療や通院、健診のための休暇制度や柔軟な勤務制度
- 2. 長時間労働の是正に向けた取り組み
- 3. 有給休暇など現状ある制度を取りやすい環境づくり
- 4. 上司や同僚の理解を深めるための啓発や研修
- 5. 予防や健康意識増進のための健康教育
- 6. 総務・人事等管理部門に相談しやすい仕組み（窓口設置等）
- 7. 上司や社内からのサポート体制づくり（面談機会の提供等）
- 8. 外部の専門家に相談できる体制
- 9. 通院や治療の費用を助成・負担する制度
- 10. その他
- 11. あてはまるものはない

Q26

あなたの部下の中に、以下に挙げている痛みや症状を感じたり、それにより勤務先で困っていたりする人はいますか。

項目リスト

1. 月経関連の症状や疾病（月経不順・月経痛等）
2. PMS（月経前症候群）
3. 女性の更年期障害（のぼせ・ほてり・多汗等）
4. 子宮内膜症や良性腫瘍（卵巣のう腫、子宮筋腫等）
5. 不妊治療
6. 妊娠・出産に関する症状（つわり・流産・早産・死産・産後うつ等）
7. 婦人科系がん（子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん・乳がん等）
8. 男性の更年期障害（関節・筋肉痛・ほてりや多汗・疲労感等）
9. 泌尿器系の疾患（前立腺がん・前立腺肥大症・前立腺炎等）

選択肢リスト

- 1. いる
- 2. いない
- 3. 分からない

Q27

症状を抱えている部下への対応として、以下に難しさを感じたことはありますか。

項目リスト

1. 本人の不調に気づくこと
2. 本人の体調や症状に配慮すること
3. 仕事との両立を応援するためのサポートを提供・アドバイスすること
4. 業務付与や仕事の役割分担の調整
5. キャリアアップやスキル向上をめざすよう勧めること
6. 責任の大きい役職や管理職への昇進を勧めること
7. 仕事を休んだり、働き方を変えたりすることを勧めること

選択肢リスト

- 1. 難しいと感じる
- 2. やや難しいと感じる
- 3. さほど難しいとは感じない
- 4. 難しいとは感じない
- 5. 分からない

Q28

症状を抱えている部下対応の際に、勤務先で必要と感じる、あればよいと思う支援はどのようなものですか。

- 1. 治療や通院、健診のための休暇制度や柔軟な勤務制度
- 2. 長時間労働の是正に向けた取り組み
- 3. 有給休暇など現状ある制度を取りやすい環境づくり
- 4. 上司や同僚の理解を深めるための啓発や研修
- 5. 予防や健康意識増進のための健康教育
- 6. 総務・人事等管理部門に相談しやすい仕組み（窓口設置等）
- 7. 上司や社内からのサポート体制づくり（面談機会の提供等）
- 8. 外部の専門家に相談できる体制
- 9. 通院や治療の費用を助成・負担する制度
- 10. その他
- 11. あてはまるものはない

■ここからは、不妊治療に関してお尋ねします

Q29

あなたは不妊治療をしたことがありますか。ある方は直近で行った時期を教えてください。
また、ない方は、近い将来不妊治療を予定していますか。

- 1. はい（1年未満）
- 2. はい（2年未満）
- 3. はい（5年未満）
- 4. はい（10年未満）
- 5. はい（10年以上）
- 6. 近い将来予定している
- 7. しようと思ったことはあるがしなかった
- 8. しようと思ったことはない（予定もしていない）
- 9. 回答しない

Q30

治療と仕事の両立をしていますか。または、過去にしていましたか。

- 1. 両立している
- 2. 両立できず仕事を辞めた
- 3. 両立できず、配偶者（パートナー）が仕事を辞めた
- 4. 両立できず雇用形態を変えた
- 5. 両立できず治療をやめた
- 6. その他

Q31

治療と仕事の両立を考えていますか。

- 1. 両立を考えている
- 2. 両立のために雇用形態の変更を考えている
- 3. 治療のため休職・離職を考えている
- 4. その他

<従業員調査>

Q32

治療と仕事の両立に関して、以下のような難しさを感じたことはありますか。当てはまるものをすべてお選びください。

- 1. 通院回数が多い
- 2. 病院と職場と自宅が離れていて、移動が負担である
- 3. 体調・体力面で負担が大きい
- 4. 精神面で負担が大きい
- 5. 仕事の日程調整が難しい（待ち時間など通院時間が読めない、通院予定日に外せない仕事が入る等）
- 6. 職場や上司の理解やサポートが得られない
- 7. 配偶者（パートナー）のサポートが得られない
- 8. 職場が長時間労働である
- 9. 仕事がストレスとなり不妊治療に影響が出る
- 10. 難しさを感じたことはない
- 11. その他

Q33

治療と仕事の両立を予定するにあたり、以下のような難しさを感じそうですか。当てはまるものをすべてお選びください。

- 1. 通院回数が多い
- 2. 病院と職場と自宅が離れていて、移動が負担である
- 3. 体調・体力面で負担が大きい
- 4. 精神面で負担が大きい
- 5. 仕事の日程調整が難しい（待ち時間など通院時間が読めない、通院予定日に外せない仕事が入る等）
- 6. 職場や上司の理解やサポートが得られない
- 7. 配偶者（パートナー）のサポートが得られない
- 8. 職場が長時間労働である
- 9. 仕事がストレスとなり不妊治療に影響が出る
- 10. 難しさを感じることはないと思う
- 11. その他

Q34

上記の理由として以下から当てはまるものをすべてお選びください。

- 1. 通院回数が多い
- 2. 病院と職場と自宅が離れていて、移動が負担である
- 3. 体調・体力面で負担が大きい
- 4. 精神面で負担が大きい
- 5. 仕事の日程調整が難しい（待ち時間など通院時間が読めない、通院予定日に外せない仕事が入る等）
- 6. 職場や上司の理解やサポートが得られない
- 7. 配偶者（パートナー）のサポートが得られない
- 8. 職場が長時間労働である
- 9. 仕事がストレスとなり不妊治療に影響が出る
- 10. その他

Q35

治療をしていることを職場で伝えています（いました）か。
また、これから不妊治療を予定されている方は、職場に伝える予定はありますか。

- 1. 上司に伝えている（伝える予定）
- 2. 人事に伝えている（伝える予定）
- 3. 同僚に伝えている（伝える予定）
- 4. 職場でオープンにしている（する予定）
- 5. 一切伝えていない（伝えない予定）
- 6. その他

Q36

上記の理由として、当てはまるものをお選びください。

- 1. 不妊治療をしていることを知られたくないから
- 2. 周囲から理解を得られないと思うから
- 3. 不妊治療がうまくいかなかった時に職場に居づらいから
- 4. 周囲に気遣いをして欲しくないから
- 5. 伝えなくても支障がないから

Q37

治療と仕事を両立する上で、職場の休暇制度や柔軟な勤務制度を利用したことはありますか？

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用しなかったが職場に制度がなかった
- 3. 利用しようと思わなかった
- 4. 分からない

Q38

治療と仕事を両立する上で、職場に必要だと思う制度やサポートはありますか？

項目リスト

1.	長時間労働の是正に向けた取組み
2.	有給休暇など現状ある制度を取りやすい環境づくり
3.	上司や同僚の理解を深めるための啓発や研修
4.	予防や健康意識増進のための健康教育
5.	総務・人事等管理部門に相談しやすい仕組み（窓口設置等）
6.	上司や社内からのサポート体制づくり（面談機会の提供等）
7.	外部の専門家に相談できる体制
8.	通院や治療の費用を助成・負担する制度

選択肢リスト

- 1. 必要だと思う
- 2. 必要だと思わない
- 3. 分からない

<従業員調査>

Q39 治療をしなかった理由を、差支えない範囲で教えてください。

- 1. 治療費が高いため
- 2. 仕事との両立が難しいと感じたため
- 3. 精神的・肉体的に辛そうだと感じたため
- 4. どこに相談すれば良いかわからなかったため
- 5. その他

Q40 あなたの職場に不妊治療をしている人はいますか。

- 1. 現在いる
- 2. 以前いた
- 3. いると思うが、本人に確認したことはない
- 4. いない
- 5. 分からない

Q41 不妊治療をしている人と一緒に働く上で、どのような情報があれば配慮しやすいですか。

- 1. 治療の内容など、不妊治療に関する一般的な知識
- 2. 不妊治療をしている人の体調について
- 3. どの程度の休みが必要か（時期、頻度）
- 4. 現在の業務に支障があるか
- 5. どのような言葉をかけたらよいか
- 6. 自分のサポートは適切か
- 7. 個人的なことなので詳細を聞きにくい場合にどのように業務上の調整を行えばよいか
- 8. その他
- 9. あてはまるものはない

■ここからは、健康問題や関連サービスの認知度や、企業や行政への要望についてお尋ねします

今までに「健康経営」という言葉を知っていましたか。

Q42 ※健康経営とは従業員等の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること（出典/経済産業省）

- 1. 言葉も意味も知っていた
- 2. 言葉は聞いたことがあったが意味は知らなかった
- 3. 知らなかった

今までに「フェムテック」という言葉を知っていましたか。

Q43

※フェムテック（Femtech）とは、Female(女性)とTechnology(技術)を掛け合わせた造語で、女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスの総称（出典/経済産業省）

- 1. 言葉も意味も知っていた
- 2. 言葉は聞いたことがあったが意味は知らなかった
- 3. 知らなかった

Q44

福岡市が次のような検診や事業を行っていること知っていますか。

項目リスト

1.	子宮頸がん検診、乳がん検診（※職場等で受診機会のない人が対象）
2.	健康づくりサポートセンター（あいれふ内）で実施している、土日や夜間の各種がん検診（※職場等で受診機会のない人が対象。無料託児サービスあり）
3.	プレコンセプションケア推進事業（30歳の女性を対象に、卵巣に残っている卵子の数の目安がわかるAMH検査の費用を助成）

選択肢リスト

- 1. 知っていた
- 2. 見聞きしたことはあったが詳しくは知らなかった
- 3. 知らなかった

Q45

以下のフェムテック関連サービスの利用経験や利用意向を教えてください。

項目リスト

1.	月経周期管理アプリ
2.	月経用品（高機能ショーツや月経カップ等）
3.	低用量ピル※のオンライン処方や配達サービス
4.	女性ホルモンの検査
5.	更年期関連の商品やサービス
6.	妊活対策の商品やサービス（アプリやサプリメント、相談サービス等）
7.	妊娠・産後ケア等の商品やサービス

選択肢リスト

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用したことはないが機会があれば利用してみたい
- 3. 利用したことはないが、費用補助等あれば利用してみたい
- 4. 利用したいと思わない
- 5. 分からない
- 6. 該当しない

<従業員調査>

Q46 フェムテックは女性特有の健康課題の解消に役立つと思いますか。

- 1. とても役立つと思う
- 2. やや役立つと思う
- 3. あまり役立たないと思う
- 4. 役立たないと思う
- 5. わからない

Q47 健康課題対応のための以下の制度やサポートは、勤務先に整備されていますか。

項目リスト

1.	生理休暇
2.	月経症状等の治療・休養のための休暇制度や柔軟な勤務形態の整備
3.	不妊治療・通院のための休暇制度や柔軟な勤務形態の整備
4.	がん治療・通院のための休暇制度や柔軟な勤務形態の整備
5.	がん等闘病後の復職サポート
6.	妊婦検診など母性健康管理のためのサポート
7.	病気の予防や健康増進に関するセミナーや啓発等の実施
8.	男性・女性特有の健康問題に関するセミナーや啓発等の実施
9.	健康問題に関する社内担当相談窓口の設置
10.	健康問題に関する外部専門家への相談窓口の設置（産業医やカウンセラー等）
11.	健康保険組合などの保険者によるサポート

選択肢リスト

- 1. ある
- 2. ない
- 3. 今はないが、今後必要だと思う
- 4. 分からない

Q48 キャリアや働き方支援のための以下の支援やサポートは、勤務先に整備されていますか。

項目リスト

1.	女性管理職の登用促進（目標値設定や候補者の育成等）
2.	女性社員向けのキャリア開発研修
3.	やりたい仕事への自己申告制度や社内公募制度
4.	性別や年齢を問わないキャリアパスの多様化
5.	短時間勤務制度やフレックスタイム、時差出勤制度等の勤務時間の柔軟化
6.	在宅勤務制度やテレワーク等、働く場所の柔軟化
7.	育児・介護と仕事との両立支援
8.	ワークライフバランス推進のための取り組み（時間外労働の削減や有給休暇取得促進等）

選択肢リスト

- 1. ある
- 2. ない
- 3. 今はないが、今後必要だと思う
- 4. 分からない

Q49

健康問題と仕事との両立課題を解消するために行政に望むことがあれば教えてください。

- 1. 市民・市内企業の理解を深める
- 2. 健康経営を促進するための企業への啓発（セミナーや研修の実施）
- 3. 企業の取組事例紹介（経験談やサポート体制等）
- 4. 企業を対象とした出前型無料セミナーの実施
- 5. ホームページ・SNSなどによる情報発信
- 6. フェムテック企業とのマッチング支援
- 7. その他
- 8. 特にない

I 事業所の属性に関する事項

まずは、貴事業所についてお尋ねします。

各項目で該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

<p>Q1. 事業所区分</p>	<p>1. 単独事業所 2. 本所・本社・本店 3. 支所・支社・支店等</p>																							
<p>Q2. 業種 (複数の業種を展開されている場合は、最も売り上げシェアの高い業種ひとつに○をつけてください)</p>	<table border="0"> <tr> <td>1. 農業、林業</td> <td>11. 不動産業、物品賃貸業</td> </tr> <tr> <td>2. 漁業</td> <td>12. 学術研究、専門・技術サービス業</td> </tr> <tr> <td>3. 鉱業、採石業、砂利採取業</td> <td>13. 宿泊業、飲食サービス業</td> </tr> <tr> <td>4. 建設業</td> <td>14. 生活関連サービス業、娯楽業</td> </tr> <tr> <td>5. 製造業</td> <td>15. 教育、学習支援業</td> </tr> <tr> <td>6. 電気・ガス・熱供給・水道業</td> <td>16. 医療、福祉</td> </tr> <tr> <td>7. 情報通信業</td> <td>17. 複合サービス事業</td> </tr> <tr> <td>8. 運輸業、郵便業</td> <td>18. サービス業(他に分類されないもの)</td> </tr> <tr> <td>9. 卸売業、小売業</td> <td>19. 公務(他に分類されるものを除く)</td> </tr> <tr> <td>10. 金融業、保険業</td> <td>20. その他(分類不能の産業)</td> </tr> </table>				1. 農業、林業	11. 不動産業、物品賃貸業	2. 漁業	12. 学術研究、専門・技術サービス業	3. 鉱業、採石業、砂利採取業	13. 宿泊業、飲食サービス業	4. 建設業	14. 生活関連サービス業、娯楽業	5. 製造業	15. 教育、学習支援業	6. 電気・ガス・熱供給・水道業	16. 医療、福祉	7. 情報通信業	17. 複合サービス事業	8. 運輸業、郵便業	18. サービス業(他に分類されないもの)	9. 卸売業、小売業	19. 公務(他に分類されるものを除く)	10. 金融業、保険業	20. その他(分類不能の産業)
1. 農業、林業	11. 不動産業、物品賃貸業																							
2. 漁業	12. 学術研究、専門・技術サービス業																							
3. 鉱業、採石業、砂利採取業	13. 宿泊業、飲食サービス業																							
4. 建設業	14. 生活関連サービス業、娯楽業																							
5. 製造業	15. 教育、学習支援業																							
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	16. 医療、福祉																							
7. 情報通信業	17. 複合サービス事業																							
8. 運輸業、郵便業	18. サービス業(他に分類されないもの)																							
9. 卸売業、小売業	19. 公務(他に分類されるものを除く)																							
10. 金融業、保険業	20. その他(分類不能の産業)																							
<p>Q3. 常時雇用する労働者数 (令和4年11月1日現在) ※本社・本店、支社・支店等、全体を含めた数でお答えください</p>	<table border="0"> <tr> <td>1. 10人以下</td> <td>4. 101～300人</td> </tr> <tr> <td>2. 11～50人</td> <td>5. 301～500人</td> </tr> <tr> <td>3. 51～100人</td> <td>6. 501人以上</td> </tr> </table> <p>※常時雇用する労働者とは、正社員だけでなくパート、契約社員等の名称に関わらず、次の要件に該当する労働者も含まれます ①期間の定めなく雇用されている者 ②一定の期間を定めて雇用されている者であって、過去1年以上の期間について引き続き雇用されている者または、雇入れの時から1年以上引き続き雇用されると見込まれる者</p>				1. 10人以下	4. 101～300人	2. 11～50人	5. 301～500人	3. 51～100人	6. 501人以上														
1. 10人以下	4. 101～300人																							
2. 11～50人	5. 301～500人																							
3. 51～100人	6. 501人以上																							
<p>Q4. 貴事業所の常時雇用する労働者のうち、正社員の男女数 (令和4年11月1日現在)</p>	<p>女性</p>	<p>人</p>	<p>男性</p>	<p>人</p>																				
<p>※正社員とは、期間を定めずに雇われている者をいいます (役員は含めないでください)</p>																								
<p>Q5. 貴事業所の常時雇用する労働者のうち、非正規雇用労働者の男女数 (令和4年11月1日現在)</p>	<p>女性</p>	<p>人</p>	<p>男性</p>	<p>人</p>																				
<p>※非正規雇用労働者とは、パートタイム及び有期雇用労働者をいいます (派遣労働者は含みません)</p>																								

II 身近な健康問題に関する事項

ここからは、身近な健康問題についてお尋ねします。

Q6. 次の症状名を知っている、または聞いたことはありますか。各症状について、それぞれ該当する番号に○をつけてください。

症状名	選択肢		
	知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない
月経関連の症状や疾病(月経不順・月経痛等)	1	2	3
PMS(月経前症候群)※	1	2	3
女性の更年期障害(のぼせ、ほてり、多汗等)	1	2	3
子宮内膜症や良性腫瘍(卵巣のう腫、子宮筋腫等)	1	2	3
不妊治療	1	2	3
妊娠・出産に関する症状(つわり・流産・早産・死産・産後うつ等)	1	2	3
婦人科系がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等)	1	2	3
男性の更年期障害(関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等)	1	2	3
泌尿器系の疾患(前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等)	1	2	3

※「PMS(Premenstrual Syndrome)」とは、日本語で「月経前症候群」と呼ばれている。生理が始まる前の3日～10日前に起こる、心と身体のさまざまな不調のこと。症状は、イライラする、怒りっぽくなる、うつ状態、腹痛、腰痛、頭痛、など様々な症状があらわれる。生理が始まると自然に消えたり、軽くなるのが特徴。

Q7. 特に女性特有とされる健康問題が、組織や社会に以下のような影響を与えていることを知っていますか。各事項について、それぞれ該当する番号に○をつけてください。

健康問題	選択肢		
	知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない
現代は出産の高齢化や回数減少により、女性が生涯で経験する月経回数が増えている。子宮内膜症や子宮筋腫、卵巣のう腫なども増加しており、月経痛や月経困難症、PMS(月経前症候群)など女性の就労に大きな影響を与えている。	1	2	3
働く女性の94%は月経に関連した症状によって仕事のパフォーマンスに影響があり、45%はパフォーマンスが半分以下になっている。	1	2	3
「疾患・症状が仕事の生産性等に与える影響に関する調査」のトップ3は、1位:メンタル不調、2位:心臓の不調、3位:月経不順・PMS(月経前症候群)等による不調。男女調査であるにも関わらず、「月経不順・PMS」という女性特有の症状が3位にランクインしている。	1	2	3
40歳以上で更年期症状がある人のうち、更年期症状により仕事のパフォーマンスに影響がある人は95%。また、35歳から59歳までの更年期を自覚している女性のうち、約50%が更年期症状で昇進を辞退し、約17%が仕事を辞めたことがある。	1	2	3
不妊の検査または治療経験がある夫婦は約4.4組に1組。不妊治療と仕事との両立ができず、女性の不妊治療経験者の23%が離職、10%が雇用形態を変更し、10%が不妊治療を断念している。	1	2	3
がん患者の約3人に1人が20代から60代でがんに罹患し、がんと診断を受けて退職・廃業した人は19.8%。そのうち初回治療までに退職・廃業した人は56.8%。また女性は乳がん患者が多く、増加傾向が認められる。	1	2	3

<事業所調査票>

Q8. 貴事業所の従業員の中で、以下に挙げている痛みや症状に悩んだり、仕事に支障を感じている人はいますか？各症状について、それぞれ該当する番号に○をつけてください。

症状名	選択肢		
	いる	いない	分からない
月経関連の症状や疾病(月経不順・月経痛等)	1	2	3
PMS(月経前症候群)	1	2	3
女性の更年期障害(のぼせ、ほてり、多汗等)	1	2	3
子宮内膜症や良性腫瘍(卵巣のう腫、子宮筋腫等)	1	2	3
不妊治療	1	2	3
妊娠・出産に関する症状(つわり・流産・早産・死産・産後うつ等)	1	2	3
婦人科系がん(子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がん、乳がん等)	1	2	3
男性の更年期障害(関節・筋肉痛、ほてりや発汗、疲労感等)	1	2	3
泌尿器系の疾患(前立腺がん、前立腺肥大症、前立腺炎等)	1	2	3

Q9. 生理休暇を取得する従業員はいますか。

いる	いない	対象者がいない	把握していない	生理休暇制度がない
1	2	3	4	5

Q10. 上記に挙げた健康問題と仕事との両立支援のために、実施したことのある取組みはありますか。該当する番号にすべて○をつけてください。

治療や通院、健診のための休暇制度や柔軟な勤務制度	1
長時間労働の是正に向けた取組み	2
有給休暇など現状ある制度を取りやすい環境づくり	3
上司や同僚の理解を深めるための啓発や研修	4
予防や健康意識増進のための健康教育	5
総務・人事等管理部門に相談しやすい仕組み(窓口設置等)	6
上司や社内からのサポート体制づくり(面談機会の提供等)	7
産業医や外部の専門家に相談できる体制	8
通院や治療の費用を助成・負担する制度	9
その他(具体的に) 〔 〕	10
あてはまるものはない	11


Q11. 上記に挙げた健康問題に関して、従業員から相談を受けたことがありますか。

ある	ない	把握していない
1	2	3

★次の質問は、Q11で「1. ある」に○をつけた事業所のみお答えください。

Q12. 相談内容を、差支えのない範囲で教えてください。

Q13. 従業員の健康問題と仕事との両立支援に関して、困難や課題として感じるものがあれば教えてください。

 次のページにお進みください。

Ⅲ 不妊治療に関する事項

ここからは、不妊治療に関してお尋ねします。

Q14. 貴事業所では、不妊治療を行っている従業員がいますか。

いる	いない	過去にいたが退職した	分からない
1	2	3	4

Q15. 貴事業所には、不妊治療を行っている従業員向けの支援制度(治療・通院のための休暇制度や柔軟な勤務形態の整備等)はありますか。

ある	1
制度はないが個別に対応している	2
ない	3
分からない	4

⇒「1.ある」に○をつけた事業所は Q16 へ

「2.制度はないが個別に対応している」
「3.ない」に○をつけた事業所は Q17 へ

★次の質問は、Q15 で「1. ある」に○をつけた事業所のみお答えください。

Q16. 不妊治療に関する支援制度の利用実績について教えてください。

制度	状況	利用者がいる(いた)	制度はあるが利用者がいない	把握していない
治療や通院、健診のための休暇制度		1	2	3
治療や通院、健診のための柔軟な勤務制度		1	2	3
産業医等外部の専門家に相談できる制度		1	2	3
通院や治療の費用を助成・負担する制度		1	2	3

★次の質問は、Q15 で「2.制度はないが個別に対応している」「3.ない」に○をつけた事業所のみお答えください。

Q17. 不妊治療に関する支援制度がない理由を、差支えのない範囲で教えてください。

IV 健康問題の認知度や行政への要望に関する事項

最後に、健康問題や関連サービスの認知度や、行政への要望についてお尋ねします。

Q22. 「健康経営」という言葉を知っていますか。

言葉も意味も知っている	言葉は聞いたことがあったが 意味は知らない	知らない
1	2	3

※健康経営とは従業員等の健康保持・増進の取組が、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること(出典/経済産業省)

Q23. 「フェムテック」という言葉を知っていますか。

言葉も意味も知っている	言葉は聞いたことがあったが 意味は知らない	知らない
1	2	3

※フェムテック(Femtech)とは、Female(女性)と Technology(技術)を掛け合わせた造語で、女性の健康課題をテクノロジーで解決する製品やサービスの総称(出典/経済産業省)

Q24. 福岡市が次のような検診や事業を行っていることを知っていますか。各事項について、それぞれ該当する番号に○をつけてください。

事業内容	選択肢	知っている	見聞きしたことはあったが 詳しくは知らない	知らない
子宮頸がん検診、乳がん検診 (※職場等で受診機会のない人が対象)		1	2	3
健康づくりサポートセンター(あいれい内)で実施している、 土日や夜間の各種がん検診 (※職場等で受診機会のない人が対象。無料託児サービスあり)		1	2	3
プレコンセプションケア推進事業 (30歳の女性を対象に、卵巣に残っている卵子の数の目安がわかる AMH 検査の費用を助成)		1	2	3

Q25. 以下のフェムテック関連サービスの導入について、それぞれ該当する番号に○をつけてください。

サービス	選択肢	導入したことがある	導入したことはないが機会があれば導入してみたい	導入したことはないが、助成や費用補助があれば導入してみたい	導入したいと思わない	分からない
月経周期管理アプリ		1	2	3	4	5
月経用品(高機能ショーツや月経カップ等)		1	2	3	4	5
低用量ピル※のオンライン処方や配達サービス		1	2	3	4	5
女性ホルモンの検査		1	2	3	4	5
更年期関連の商品やサービス		1	2	3	4	5
妊活対策の商品やサービス (アプリやサプリメント、相談サービス等)		1	2	3	4	5
妊娠・産後ケア等の商品やサービス		1	2	3	4	5

※低用量ピルとは、体内で生成される女性ホルモンの量を調整するための薬剤。妊娠のコントロールや生理痛・PMS の軽減、月経不順の改善等の効果が期待される

Q26. フェムテックは女性特有の健康課題の解消や健康経営の推進に役立つと思いますか？

とても役立つと思う	やや役立つと思う	あまり役立たないと思う	役立たないと思う	分からない
1	2	3	4	5

Q27. 健康問題と仕事との両立課題を解消するために行政に望むことはありますか。該当する番号にすべて○をつけてください。

市民・市内企業の理解を深める	1
健康経営を促進するための企業への啓発(セミナーや研修の実施)	2
企業の取組事例紹介(経験談やサポート体制等)	3
企業を対象とした出前型無料セミナーの実施	4
ホームページ・SNS などによる情報発信	5
フェムテック企業とのマッチング支援	6
その他(具体的要望) ()	7
特にない	8

<事業所調査票>

Q28. 調査結果(概要)の送付先メールアドレスをご記入ください。

※上記の概要送付のみに使用します。

以上で調査は終了です。
お忙しいところ、調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

令和5年1月31日(火)までに
同封の返信用封筒(切手不要)にて、ご返送をお願い致します。

健康課題等と仕事の両立に関する事業所等実態調査

報 告 書

令和 4 年度

発行：福岡市市民局男女共同参画部女性活躍推進課

〒815-0083 福岡市南区高宮 3 丁目 3-1

電話 092-406-8111